



平成 23 年 10 月 31 日

会 社 名 SCSK株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中井戸 信英  
(コード番号 9719 東証 第一部)  
問合せ先 経理第一部長 松田 康明  
(TEL. 03-5166-1340)

---

## 消滅会社(株式会社CSK)に関わる決算開示について

---

当社は、本年10月1日で住商情報システム株式会社と株式会社CSKの2社が合併し、新会社「SCSK株式会社」として発足いたしました。消滅会社である株式会社CSKの平成24年3月期第2四半期決算短信（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）について、添付のとおりお知らせいたします。

記

・株式会社CSK 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

以 上



平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 10 月 31 日

上場会社名 SCSK株式会社(旧株式会社CSK) 上場取引所 東  
 コード番号 9719 URL <http://www.scsk.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中井戸 信英  
 問合せ先責任者 (役職名)経理第二部長 (氏名)岡 恭彦 TEL(03)6438-3030

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期の連結業績(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 2 四半期	68,379	0.3	4,048	84.7	3,836	735.5	2,275	—
23 年 3 月期第 2 四半期	68,156	△19.4	2,192	—	459	—	△7,815	—

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 2 四半期 2,238 百万円(—%) 23 年 3 月期第 2 四半期 △8,004 百万円(—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
24 年 3 月期第 2 四半期	円 銭 13 31	円 銭 4 73
23 年 3 月期第 2 四半期	△62 16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24 年 3 月期第 2 四半期	百万円 156,357	百万円 16,177	% 7.3
23 年 3 月期	180,862	11,054	3.3

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 2 四半期 11,390 百万円 23 年 3 月期 5,942 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
23 年 3 月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 0 00
24 年 3 月期	—	0 00	—	—	—
24 年 3 月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 株式会社CSKは平成 23 年 10 月 1 日を効力発生日として、住商情報システム株式会社と合併し SCSK株式会社となっております。

3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 株式会社CSKは平成 23 年 10 月 1 日を効力発生日として、住商情報システム株式会社と合併し SCSK株式会社となっております。

このため、通期業績予想につきましては、本日 SCSK株式会社として開示しております「業績予想の修正及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期2Q	173,747,714株	23年3月期	149,747,714株
24年3月期2Q	18,727株	23年3月期	16,015株
24年3月期2Q	170,976,556株	23年3月期2Q	125,735,168株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・株式会社CSKは平成23年10月1日を効力発生日として、住商情報システム株式会社と合併しSCSK株式会社となっております。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、堅調な案件の引き合いを背景に増収に転じたシステム開発事業をけん引役に、データセンター関連売上の増加を含むITマネジメント事業の増収も加わり、事業整理による減収の影響を補い、683.7億円(前年同期比0.3%増)と増収を確保しました。

営業利益は、不採算事業の整理に伴う経費削減や、販売管理費の削減等を通じた収益性改善施策を推し進めたことにより、40.4億円(前年同期比84.7%増)となりました。

経常利益は、営業利益の増益に加え、前年同期に17.5億円の貸倒引当金繰入があったものの当期には同様の費用計上はなく、営業外費用が前年同期比で大きく減少したことから、38.3億円(前年同期比735.5%増)となりました。

四半期純利益は、経常利益の増益に加え、当期特別損失として資産整理に伴う投資有価証券売却損や同評価損等を計上しましたが、前期には証券事業撤退に伴う特別損失89.0億円を計上したこともあり、特別損益が大きく改善し、22.7億円と黒字転換(前年同期は78.1億円の四半期純損失)しております。

## &lt;セグメント別の業績&gt;

## 〔BPO〕

売上高は、検証サービス事業、コンタクトセンター事業が、新規案件の獲得等により増収となっており、フルフィルメント事業での既存顧客案件の減少を補い、157.6億円(前年同期比0.4%減)と前期並みとなりました。

営業利益は、主に減収とフルフィルメント事業の需要拡大に備えるための設備拡張に伴うコストの増加等により0.1億円の営業赤字(前年同期は1.5億円の営業黒字)となりました。

## 〔ITマネジメント〕

売上高は、主にデータセンターサービスの増加や大型案件を含む機器販売の増加により179.2億円(前年同期比4.3%増)となりました。

営業利益は、データセンター関連費用の減少や販売管理費の削減等により17.5億円(同48.9%増)となりました。

## 〔システム開発〕

売上高は、損保、通信向け案件が順調に推移し347.3億円(前年同期比1.4%増)となりました。

営業利益は、増収に加え、主に証券会社向け事業の再編によるコスト構造の見直しや販売管理費の削減により34.8億円(同47.4%増)となりました。

## 〔プリペイドカード〕

売上高は、機器販売の減収により17.5億円(前年同期比2.1%減)となりました。

営業利益は、カード預り金運用収益の増加等により3.8億円(同14.3%増)となりました。

上記の各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。なお、詳細については、9ページ「3. (4) セグメント情報等」をご参照ください。

## 〔その他〕

ベンチャーキャピタル事業、投資信託委託業は撤退しており、当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益ともに実績はありません。(前年同期は売上高4.5億円、2.3億円の営業赤字)

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

< 資産 1,563.5億円 (前連結会計年度末比 245.0億円 (13.5%) 減少) >

流動資産は、主に2011年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の償還217.9億円による現金及び預金の減少170.2億円や、国債の償還による有価証券の減少67.5億円等により271.5億円減少いたしました。

固定資産は、主に国債の購入による投資有価証券の増加46.5億円により26.4億円増加いたしました。

< 負債 1,401.7億円 (前連結会計年度末比 296.2億円 (17.4%) 減少) >

流動負債は、主に2011年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の償還に伴う1年内償還予定の新株予約権付社債の減少217.9億円等により247.6億円減少いたしました。

固定負債は、主に長期借入金の返済50.0億円により48.6億円減少いたしました。

< 純資産 161.7億円 (前連結会計年度末比 51.2億円 (46.3%) 増加) >

純資産は、主に新株予約権の行使による資本金、資本剰余金の増加と四半期純利益による利益剰余金の増加により51.2億円増加いたしました。

## ②キャッシュ・フローの状況

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >

営業活動の結果、増加した資金は75.1億円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益30.1億円、減価償却費20.4億円、売上債権の減少18.4億円によるものです。主な減少要因は、たな卸資産の増加11.5億円、カード預り金の減少9.7億円、仕入債務の減少5.0億円によるものです。

< 投資活動によるキャッシュ・フロー >

投資活動の結果、減少した資金は4.4億円となりました。

主な増加要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入86.4億円によるものです。主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出73.6億円、有形固定資産の取得による支出17.4億円によるものです。

< 財務活動によるキャッシュ・フロー >

財務活動の結果、減少した資金は241.2億円となりました。

主な増加要因は、株式の発行による収入30.0億円によるものです。主な減少要因は、新株予約権付社債の償還による支出217.9億円、長期借入金の返済による支出50.3億円によるものです。

< 現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高 >

上述の各段階キャッシュ・フローにより現金及び現金同等物の残高は316.4億円となり、前連結会計年度末に比べ171.2億円の減少となりました。

## 2. サマリー情報 (その他) に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,972	32,948
受取手形及び売掛金	23,034	21,197
有価証券	8,995	2,240
たな卸資産	1,987	3,146
短期貸付金	17,351	17,340
その他	12,026	9,316
貸倒引当金	△10,800	△10,771
流動資産合計	102,568	75,418
固定資産		
有形固定資産	23,228	22,307
無形固定資産		
その他	2,284	2,232
無形固定資産合計	2,284	2,232
投資その他の資産		
投資有価証券	41,105	45,761
その他	12,009	10,922
貸倒引当金	△332	△284
投資その他の資産合計	52,781	56,399
固定資産合計	78,293	80,939
資産合計	180,862	156,357
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,366	4,862
1年内償還予定の新株予約権付社債	21,792	—
1年内返済予定の長期借入金	10,063	10,031
未払法人税等	841	666
カード預り金	57,854	56,875
賞与引当金	3,915	4,474
役員賞与引当金	7	15
開発等損失引当金	79	74
その他	13,071	11,225
流動負債合計	112,992	88,226
固定負債		
新株予約権付社債	35,000	35,000
長期借入金	19,860	14,860
退職給付引当金	104	111
役員退職慰労引当金	25	25
その他	1,825	1,955
固定負債合計	56,814	51,952
負債合計	169,807	140,179

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	97,811	99,459
資本剰余金	55,349	56,997
利益剰余金	△147,265	△145,049
自己株式	△11	△11
株主資本合計	5,884	11,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58	△2
為替換算調整勘定	—	△2
その他の包括利益累計額合計	58	△4
新株予約権	295	—
少数株主持分	4,816	4,787
純資産合計	11,054	16,177
負債純資産合計	180,862	156,357



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	68,156	68,379
売上原価	52,054	52,699
売上総利益	16,101	15,679
販売費及び一般管理費	13,909	11,631
営業利益	2,192	4,048
営業外収益		
受取利息	55	26
受取配当金	33	44
カード退蔵益	575	517
投資有価証券売却益	111	417
その他	335	333
営業外収益合計	1,112	1,340
営業外費用		
支払利息	498	412
貸倒引当金繰入額	1,753	—
その他	593	1,139
営業外費用合計	2,845	1,551
経常利益	459	3,836
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
貸倒引当金戻入額	51	—
その他	17	—
特別利益合計	69	1
特別損失		
減損損失	17	150
投資有価証券売却損	—	156
投資有価証券評価損	76	391
合併関連費用	—	129
証券事業撤退損失	8,904	—
その他	957	—
特別損失合計	9,956	827
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,427	3,010
法人税、住民税及び事業税	683	381
法人税等調整額	△2,354	329
法人税等合計	△1,671	711
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,756	2,299
少数株主利益	59	24
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,815	2,275

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△7,756	2,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△247	△61
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益合計	△247	△61
四半期包括利益	△8,004	2,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,066	2,214
少数株主に係る四半期包括利益	62	23

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,427	3,010
減価償却費	2,245	2,049
減損損失	17	150
のれん償却額	68	—
引当金の増減額(△は減少)及び前払年金費用の増減額(△は増加)	1,679	486
受取利息及び受取配当金	△89	△71
支払利息	504	412
証券事業撤退損失	8,904	—
売上債権の増減額(△は増加)	4,965	1,841
たな卸資産の増減額(△は増加)	△501	△1,158
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,118	△504
カード預り金の増減額(△は減少)	826	△979
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	166	—
その他	△1,517	2,051
小計	5,725	7,289
利息及び配当金の受取額	60	139
利息の支払額	△482	△480
法人税等の還付額	1,069	565
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,373	7,514
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△6	△100
有価証券の売却及び償還・取得による収入・支出(純額)	10,227	0
有形固定資産の取得による支出	△367	△1,741
有形固定資産の売却による収入	18	291
無形固定資産の取得による支出	△463	△509
投資有価証券の取得による支出	△15,543	△7,361
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,445	8,646
短期貸付金の純増減額(△は増加)	5,089	13
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	3,006	—
その他	△0	320
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,406	△440
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△12,531	△5,031
新株予約権付社債の償還による支出	—	△21,792
株式の発行による収入	1,210	3,000
その他	△121	△306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,442	△24,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,665	△17,059
現金及び現金同等物の期首残高	43,394	48,772
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	33
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△1,404	△98
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,324	31,648

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	B P O	I Tマネ ジメント	システム 開発	プリペイド カード	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	15,306	16,570	34,108	1,715	67,701	455	68,156	—	68,156
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	523	625	157	76	1,383	—	1,383	△1,383	—
計	15,830	17,196	34,265	1,791	69,084	455	69,539	△1,383	68,156
セグメント利益 又は損失(△)	158	1,176	2,366	337	4,039	△231	3,807	△1,615	2,192

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業、投資信託委託業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△1,615百万円には、グループ運営収入869百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,751百万円が含まれております。全社費用は、主に当社で発生したグループ会社の管理費用等であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	B P O	I Tマネ ジメント	システム 開発	プリペイド カード	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	15,151	17,171	34,418	1,638	68,379	—	68,379
セグメント間の 内部 売上高又は振替高	617	758	317	115	1,808	△1,808	—
計	15,768	17,929	34,736	1,753	70,187	△1,808	68,379
セグメント利益 又は損失(△)	△18	1,751	3,488	386	5,607	△1,559	4,048

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,559百万円には、全社費用△1,593百万円が含まれております。全社費用は、主に当社で発生したグループ会社の管理費用等であります。
- 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、第1四半期連結会計期間に機構改革を行い、従来のシステム開発セグメントに含まれていたクラウド事業とビジネスサービス事業について、それぞれITマネジメントセグメント、BPOセグメントへと移管しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき、組み替えて作成しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

住商情報システム(株)が住友商事(株)と共同して実施した平成23年3月10日から平成23年4月11日までを買付け等の期間とする当社の株式等に対する公開買付けにより、住友商事(株)は当社の第7回新株予約権(平成21年9月30日発行)を合同会社ACAインベストメンツより取得し、平成23年4月22日付で当該新株予約権の全てを行使いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,647百万円増加しており、当第2四半期連結累計期間末の資本金は99,459百万円、資本剰余金は56,997百万円となっております。